

南海トラフ地震発生時の学生行動マニュアル

1. 南海トラフ地震について

「南海トラフ地震」とは四国沖で起こる**マグニチュード8クラスの巨大地震**のことをいい、およそ100年間隔でやってくる巨大災害です。昭和21年の昭和南海地震からすでに70年以上経過し、次の地震に向けて歪みの蓄積が進行しています。

起こることが確実なので、日頃から防災に対するしっかりした備えを！

発生の確率	10年以内 20%程度	30年以内 70%程度	50年以内 90%程度
地震の規模	マグニチュード8~9クラス(阪神・淡路大震災 7.2 東日本大震災 9.0)		

高知県の34市町村が、著しい地震災害が生じる恐れがあるため、地震防災対策を推進する必要がある地域に該当し、本学の所在する高知市及び南国市も含まれています。

この大津波の予想地域には朝倉・岡豊キャンパスは含まれていませんが、津波の影響は岡豊・物部キャンパスには及ぶとされています。特に物部キャンパスにおいては、最大クラスの地震が発生した場合、5mに及び津波が想定されています。(H24.8.29内閣府公表)

なお、これらはあくまで予想ですので、これらの数字にとらわれることなく、日頃からきたるべき災害に備えてください。

※ 最新の情報は「こうち防災情報 (URL <http://kouhou.bousai.pref.kochi.jp/>)」で確認してください。

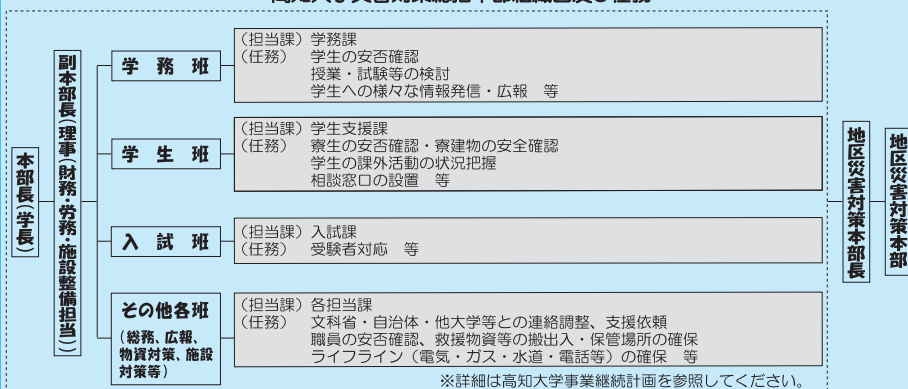
2. 高知大学の対応

大規模地震（以下「地震」という。）が発生した場合は、**直ちに災害対策総括本部の下、「学務班、学生班、入試班」**等を設置します。

① 災害対策本部の概要

過去の大規模災害の経験から、災害発生時に過大な風評や誤った情報が流れるなどの問題が指摘されています。また、迅速な二次災害防止対策が重要といわれています。

高知大学災害対策総括本部組織図及び任務



<災害対策本部の設置場所>

キャンパス	場 所	緊急連絡先
朝 倉	陸上競技場で確認してください。	088-844-8116/088-844-8144
岡 豊	図書館前広場で確認してください。	088-880-2221
物 部	物部キャンパス地震・津波時避難場所で確認してください。	088-864-5114

※ 災害復旧のボランティア活動についても受付・幹旋します。

② 地震発生時の行動マニュアル

地震発生

↓ ・ 落ち着いて、机などの下へ入り身を隠す。かばんや本で頭部を守る。

揺れがおさまったら（授業中は担当教員等の指示に従って行動）

- ・ 非常口やドアを開けて避難口を確保する。
- ・ 室内、周りにいる人の安全確認。
- ・ 火元の確認（火が出ていたら落ち着いて消火）

↓ **避難**（学内の場合は、グラウンドまたは安全な場所へ）

- ・ 身の回りの物、非常持出品だけを持って、徒歩で逃げる。
- ・ エレベーターは使わない。
- ・ 負傷者や施設に不慣れな人の避難を積極的に支援する。
- ・ 津波から避難（高台かビルの4階以上へ）
- ・ 正確な情報を収集し、できるだけ集団行動を心がける。

↓ **身の安全を困った後、安否連絡**

③ 安否等の連絡

学生に関する情報は、原則として「学務班」が対応することになります。

ついては、学生の皆さんは、災害が発生した場合は「自分の安否や避難先」などの状況を**直ちに安否確認メール等により「学務班」へ連絡**してください。

なお、安否等を連絡する際に、**友人など他の学生の情報もわかっていたら併せて連絡**してください。

学内にいる場合

避難場所で、「**災害対策本部学務班**」による安否確認が行われます。

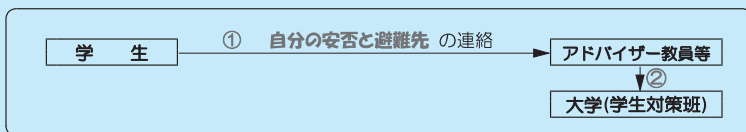
学外にいる場合

① 地域または最寄りの避難場所での安否確認

- ・ 氏名、学部学科、学生番号等を記載した「**行動予定メモ**」を渡してください。

② 大学(災害対策本部)への連絡

- ・ 地域等の避難場所から移動許可等が出た場合は、本学の最寄りキャンパスの「**災害対策本部**」に向向き、安否の確認を受けてください。
- ・ 「災害対策本部」に行けない場合は、下図のとおりアドバイザー教員等に連絡するなど、**遅くならないいずれかのキャンパスの「災害対策本部」に連絡**してください。



家族等への連絡

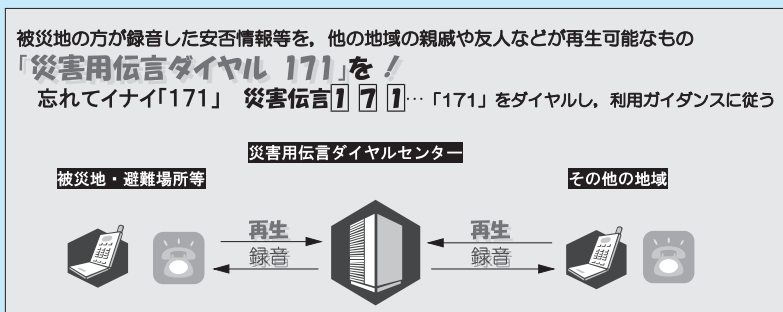
地震発生直後は、携帯電話が使用できるか予測がつきません。復旧等も遅れることが想定されます。電話会社は有線電話を優先して復旧することになっており、災害対策室に有線電話を設置し、皆さんの家族からの照会への対応を優先しますので、大学の対応を家族の方に理解してもらってください。

< 参 考 >

連絡方法には、電子メール・電話・FAX・直接窓口へ行く・災害用伝言ダイヤル等があります。これまでの地震では**災害用伝言ダイヤルや電子メールが比較的つながる確率が高い**と言われています。

○ 災害用伝言ダイヤル 171

被災地の方が録音した安否情報等を、他の地域の親戚や友人などが再生可能なもの忘れてイナイ「171」 災害伝言「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従う。



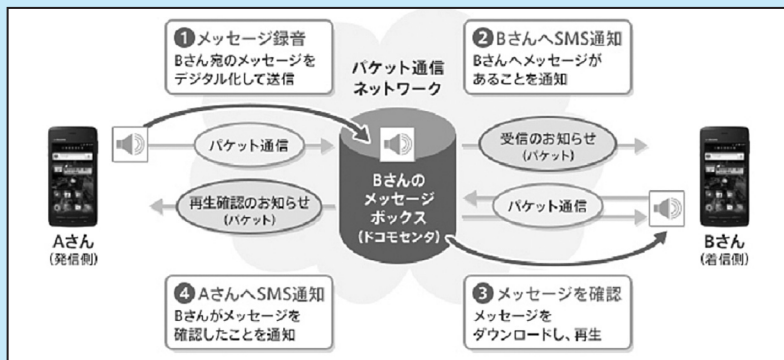
○ 災害用伝言ダイヤル171・災害用ブロードバンド伝言版 (Web171) の体験利用

災害時以外にも、災害用伝言ダイヤル(171)及び災害用ブロードバンド伝言版(Web171)をご体験いただけるように「体験利用日」を設定しております。是非、家族・親戚・友人間で体験していただきますようお願いいたします。

- 【体験利用日】 ● 毎月1日及び15日 00:00~24:00
● 正月三が日 (1月1日 00:00~1月3日24:00)
● 防災週間 (8月30日 9:00~9月5日17:00)
● 防災とボランティア週間 (1月15日 9:00~1月21日 17:00)
- 【提供条件】 ● 伝言録音時間 : 30秒
● 伝言保存期間 : 6時間
● 伝言蓄積数 : 10伝言

○ 災害用音声お届けサービス(携帯電話事業者4社による相互利用)

震度6弱以上の地震など大規模災害発生時などで、音声発信が集中することでつながりにくくなった場合に、音声通信に代わってパケット通信により音声メッセージをお届けする災害時専用のサービスです。携帯4社の携帯電話番号（au、ソフトバンクモバイル、ワイモバイル）とメッセージが送受信できます。



※NTT docomoホームページ
災害用音声お届けサービスより

避難場所・避難ルートの確認

通学ルート、普段よく出かける場所等の避難場所、避難ルートを確認しておきましょう。また、各自治体HP等で、自分の自宅に一番近い避難場所を確認しておきましょう。

みなさんが住んでいる市町村でも地震対策を行っており、広報誌やホームページで公表されています。高知市・南国市の対策本部等の電話番号は次のとおりです。

高知市地域防災推進課 088-823-9040

<http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/bousaimap2009.html>

南国市危機管理課 088-880-6575

http://www.city.nankoku.lg.jp/life/life_dtl.php?hdkKey=1779

防災訓練について

高知大学では、毎年、学生・教職員が参加する防災避難訓練を実施しています。被災時の行動確認のためにも積極的な参加に努めてください。また、防災訓練の当日は、学生・教職員全員を対象に安否確認システム（p88）による安否確認メールのテスト送信も同時に実施しますので、安否確認メールを受信したら、速やかに回答を返してください。